



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月27日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東
 コード番号 8217 URL http://www.okuwa.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桑 弘嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481
 兼 I R 室長
 四半期報告書提出予定日 2021年12月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年2月21日~2021年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	198,191	△4.5	3,425	△36.9	3,595	△35.5	1,869	△33.4
2021年2月期第3四半期	207,472	5.8	5,428	270.9	5,570	240.6	2,806	288.6

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,899百万円(△34.1%) 2021年2月期第3四半期 2,880百万円(316.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	42.63	42.63
2021年2月期第3四半期	64.01	63.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	134,003	78,510	58.4
2021年2月期	137,863	77,747	56.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 78,225百万円 2021年2月期 77,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2022年2月期	—	13.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年2月21日~2022年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△3.3	4,800	△38.8	5,100	△36.4	2,000	△47.2	45.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	45,237,297株	2021年2月期	45,237,297株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	1,386,722株	2021年2月期	1,400,405株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	43,846,571株	2021年2月期3Q	43,835,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年2月21日～2021年11月20日)におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が継続いたしました。ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きを見せつつあり、経済活動の正常化への期待感はあるものの、長期化した感染症拡大の影響は大きく、新たな変異株による感染再拡大の懸念もあり、景気の先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、店舗における感染症拡大防止策の実施や内食需要の高まりへの対応が求められ、消費者の節約志向は根強く、業種業態を越えた顧客の獲得競争も厳しさを増しており、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下において、新しい経営体制のもと、年度スローガンを『一人ひとりの意識改革と行動力で社会環境の変化と多様化するお客様ニーズに対応していこう』とし、刻々と変化する社会環境とお客様ニーズへの対応、食の安全安心、豊かな生活をお客様にお届けできることを基本姿勢とし、アフターコロナの時代を見据えた変化するライフスタイルに対応できる商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。また、各店舗においては、引き続き感染症予防策を徹底し、従業員の安全確保とおお客様の信頼にお応えするべく、営業体制・サービスの提供に努めてまいりました。

当期の新規出店につきましては「田辺東山店」(和歌山県田辺市)を3月に、「パレマルシェ神宮前店」(愛知県名古屋市)を7月にオープンいたしました。また、既存店舗の活性化につきましては「パピリオンシティ田辺店」(和歌山県田辺市)、「かつらぎ店」(和歌山県伊都郡かつらぎ町)を4月に、「久居庄田店」(三重県津市)を6月に、「みなべ店」(和歌山県日高郡みなべ町)、「白浜堅田店」(和歌山県西牟婁郡白浜町)を7月に、「スーパーセンターセントラルシティ和歌山店」(和歌山県和歌山市)、「和泉中央店」(大阪府和泉市)を9月に、「香芝逢坂店」(奈良県香芝市)、「橿原坊城店」(奈良県橿原市)を10月にそれぞれ改装いたしました。一方、経営効率化のため、6月に「パレマルシェ神宮店」(愛知県名古屋市)、8月に「プライスカット永井店」(奈良県奈良市)、9月に「プライスカット西の京店」(奈良県奈良市)、「屋形店」(和歌山県和歌山市)、10月に「プライスカット神倉店」(和歌山県新宮市)、11月に「伊賀緑ヶ丘店」(三重県伊賀市)をそれぞれ閉店いたしました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツ及び農産物等の加工・配送を担う㈱サンライズは、巣ごもり需要の反動もあり、減収減益となりました。一方、外食の㈱オークフーズは、外食需要の一部回復により、増収増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、前期における巣ごもり需要の反動により、営業収益(売上高及び営業収入)は1,981億91百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は34億25百万円(前年同期比36.9%減)、経常利益は35億95百万円(前年同期比35.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億69百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ38億60百万円減少し、1,340億3百万円となりました。流動資産では31億5百万円の減少であり、これは主に現金及び預金が34億51百万円減少したことによるものであります。固定資産では7億54百万円の減少であり、これは主に有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる器具及び備品が8億10百万円、建物及び構築物(純額)が6億57百万円増加した一方、土地が8億8百万円、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれるリース資産が7億63百万円、建設仮勘定が5億85百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ46億23百万円減少し、554億92百万円となりました。流動負債では11億38百万円の減少であり、これは主に短期借入金が増加した一方、未払法人税等が11億10百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が10億38百万円減少したことによるものであります。固定負債では34億84百万円の減少であり、これは主に長期借入金が増加した一方、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が6億14百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億63百万円増加し、785億10百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2021年4月5日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,593	15,141
受取手形及び売掛金	5,465	5,302
商品及び製品	9,319	9,795
その他	2,172	2,204
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	35,549	32,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,659	48,317
土地	30,012	29,203
その他(純額)	7,882	7,497
有形固定資産合計	85,554	85,018
無形固定資産		
その他	3,909	3,875
無形固定資産合計	3,909	3,875
投資その他の資産		
その他	12,862	12,678
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	12,850	12,666
固定資産合計	102,314	101,559
資産合計	137,863	134,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,804	14,182
短期借入金	4,660	5,660
1年内返済予定の長期借入金	4,317	3,631
未払法人税等	1,419	309
ポイント引当金	1,462	1,626
その他	15,730	14,848
流動負債合計	41,395	40,257
固定負債		
長期借入金	10,459	7,773
退職給付に係る負債	77	76
資産除去債務	3,043	3,078
その他	5,139	4,306
固定負債合計	18,720	15,235
負債合計	60,116	55,492

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,017	15,015
利益剰余金	50,273	51,002
自己株式	△1,674	△1,658
株主資本合計	77,733	78,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	20
退職給付に係る調整累計額	△309	△271
その他の包括利益累計額合計	△258	△251
新株予約権	51	45
非支配株主持分	220	239
純資産合計	77,747	78,510
負債純資産合計	137,863	134,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年2月21日 至2021年11月20日)
売上高	199,568	190,306
売上原価	144,368	137,891
売上総利益	55,200	52,415
営業収入		
不動産賃貸収入	2,323	2,323
その他の営業収入	5,580	5,560
営業収入合計	7,904	7,884
営業総利益	63,104	60,300
販売費及び一般管理費	57,676	56,874
営業利益	5,428	3,425
営業外収益		
持分法による投資利益	11	8
リサイクル材売却収入	52	51
受取配当金	39	41
その他	129	126
営業外収益合計	233	227
営業外費用		
支払利息	60	47
その他	30	10
営業外費用合計	90	58
経常利益	5,570	3,595
特別利益		
固定資産売却益	5	0
補助金収入	36	8
特別利益合計	42	8
特別損失		
固定資産売却損	18	0
固定資産除却損	173	390
賃貸借契約解約損	450	32
減損損失	602	178
その他	1	22
特別損失合計	1,245	623
税金等調整前四半期純利益	4,367	2,980
法人税等	1,526	1,087
四半期純利益	2,840	1,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,806	1,869

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月21日 至 2021年11月20日)
四半期純利益	2,840	1,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△30
退職給付に係る調整額	35	37
その他の包括利益合計	40	7
四半期包括利益	2,880	1,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,846	1,876
非支配株主に係る四半期包括利益	34	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(和歌山市北部の断水について)

2021年10月3日に発生した和歌山県和歌山市の紀の川に架かる水管橋の一部崩落により和歌山市北部で断水となり、当グループの店舗においても一部営業が制限される事態となりました。なお、現在はすべて通常営業となっておりますが、断水による損害及び臨時費用について、当第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に21百万円計上しております。